

指導者用ガイド

2024年度版

[文部科学省後援] 実用数学技能検定®
*対象:1~11級

ごあいさつ

公益財団法人 日本数学検定協会
理事長 高田 忍



「60%の壁」。この言葉を聞いて、みなさまは何を思い浮かべるでしょうか。

国の行う全国学力・学習状況調査では毎年、中学生に「数学の勉強は好きですか」と質問しています。先の数は、その回答に「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と答えた生徒の割合です。実は、2007(平成19)年度以降の調査において、これが全体の60%を超えたことはありません。しかし、教育現場で学びの質や深まりを重視したくふうを日々積み重ねられたおかげで、その割合は徐々に高まり、2022年度にはついに58.3%に達し、60%を超えるのも遠い未来ではありません。これまでご尽力されたすべての関係者のみなさまに敬意を表します。そしてもう一つ、ここに興味深い結果があります。それは「算数・数学の勉強は大切だと思いますか」「算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか」の質問に対して、肯定する回答が毎年とても高い割合で得られ続けていることです。なぜ、子どもたちはそう思っているのでしょうか。私は、子どもたちが日常生活や学校教育のなかで、社会情勢と学びの指針を感じ取っているからだと推察しています。

日本の社会では、社会課題解決型ビジネスが注目されています。Society5.0の実現に向けて、AI(人工知能)、ビッグデータ、IoT(Internet of Things)などが急速に進化し、それらを活用して社会課題を解決するデータサイエンス人材やDX(デジタルトランスフォーメーション)人材の確保が急務となりました。そして現在は、人材の育成が重要視されています。2022年4月に政府が発表した「AI戦略2022」では「第四部『すべてにAI』を目指した着実な取組』において、6つの取り組みを推進するとしました。そこで最初に掲げたのが、教育改革です。改革には「まずは、さまざまな社会課題と数学・理科の関係を早い段階からしっかりと理解し、数学・理科の力で解決する思考の経験が肝要である」と述べています。文部科学省も、課題を解決していくための力の育成が社会的な要請となっていることを従来から認識し「目の前の事象から解決すべき課題を見だし、主体的に考え、多様な立場の者が協働的に議論し、納得解を生み出す資質・能力が一層強く求められている」として、令和の日本型学校教育の構築に注力しています(中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育の構築を目指して」(2021.1))。

公益財団法人日本数学検定協会(以下「当協会」)は、生涯学習の観点で数学に関する事業をいくつも展開しており、まさに生涯にわたって人が成長し続けることをサポートしています。実用数学技能検定「数検」は、学校などの公教育、塾などの民間教育、家族の支えによる家庭教育、そして、自己の能力向上をめざす社会教育にいたるまで、幅広いシーンで活用されてきました。2022年3月に累計のべ志願者数が700万人を突破したのも、ひとえに受検者ならびにかれらを支えてくださった多くのみなさまのご支援の賜物と感謝申し上げます。また、学校で学んだ数学力をビジネスの現場で生かすために必要な考え方・使い方を身につける「ビジネス数学」、データサイエンスの基盤となる基礎的な数学力とそれを活用するコンサルティング力を兼ね備えた専門家として認定する資格「データサイエンス数学ストラテジスト」においても、みなさまのご愛顧とご支援を賜り重ねて御礼申し上げます。当協会の使命の1つは、課題を解決していくために必要な基礎力の1つである算数・数学の学びの機会を、あらゆる世代に提供することです。そのため当協会は、これまで以上に社会のニーズに積極的に応えていかななくてはなりません。検定事業の枠にとどまらず、生涯学習の算数・数学の学びの面で「人を育てる」ことをめざして挑戦し続けます。

受検者ならびに広く国民のみなさまにとって一層有益なものとなるよう、これまで実施してきた諸事業を改革するとともに、新たな事業の創出も視野に入れて公益に伝えていくことが必要であると考えています。みなさまのこれまでの温かいご指導とご鞭撻に感謝し、これからも引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。ごあいさついたします。

「数検」とは？

実用数学技能検定「数検」(後援=文部科学省。対象：1～11級)は、数学・算数の実用的な技能(計算・作図・表現・測定・整理・統計・証明)を測る「記述式」の検定で、公益財団法人日本数学検定協会が実施している全国レベルの実力・絶対評価システムです。

おもに、数学領域である1級から5級までを「数学検定」と呼び、算数領域である6級から11級、かず・かたち検定までを「算数検定」と呼びます。

第1回を実施した1992年には5,500人だった年間志願者数は2006年以降は30万人を、また、数検を実施する学校や教育機関も16,000団体を超え、公費での活用も広がっています。以来、累計志願者数は700万人を突破しており、いまや数学・算数に関する検定のスタンダードとして進学・就職に必須の検定となっています。

日本国内はもちろん、フィリピンやカンボジア、インドネシア、タイなどでも実施され(累計志願者数は50,000人以上)、海外でも高い評価を得ています。

「記述式」とは

問題の出題形式は、選択式、短答式、記述式に分類できます。記述式は、「思考力」「判断力」「表現力」などの能力が育っているかどうかを評価するために使われてきています。

当協会では従来から、短答式と記述式を合わせて「記述式」と捉えてきました。そして、記述式の問題を、論理読解力を問う問題と論理構成力を問う問題に分けてきました。論理読解力とは、解法が示された問題に対してその筋書きを読み取って答える力です。また、論理構成力とは解法が示されていない問題に対して自分で筋書きをつくって答える力です。

当協会では、後者の論理構成力を問う問題をとくに論述式の問題として出題してきました。「思考力」「判断力」「表現力」を、よりの確に評価するためには、論述式の問題による評価が必要であると考え、論述式の問題を一貫して出題してきています。

「数検」の特長

1 「記述式」の検定

実用数学技能検定「数検」(数学検定・算数検定)は「記述式」の解答を原則としています。解答を記述することで、答えに至る過程や結果について理解しているかどうかをみることができます。

2 論述式を出題

数検は論述式が出題されます。条件から結論を導くための筋道をつくり、それを記述することで、「思考力」「判断力」「表現力」が身につけているかどうかをみることが出来ます。

3 学年をまたぐ幅広い出題範囲

準1級から10級までの出題範囲は、目安となる学年とその下の学年の2学年分または3学年分にわたります。

1年前、2年前に学習した内容の理解についても確認できます。

※各階級の出題範囲の詳細については、公式サイト内の「各階級の概要・検定の出題内容」でご確認ください。
www.su-gaku.net/suken/examination/summary/



数検3級(中学校3年程度)の出題例と採点例です

1～5級には、計算技能を測る「1次：計算技能検定」と、数理応用技能を測る「2次：数理技能検定」があります。6～11級、かず・かたち検定には、1次・2次の区分はありません。

こちらは採点例です。実際の検定では、解答用紙は返却されません。

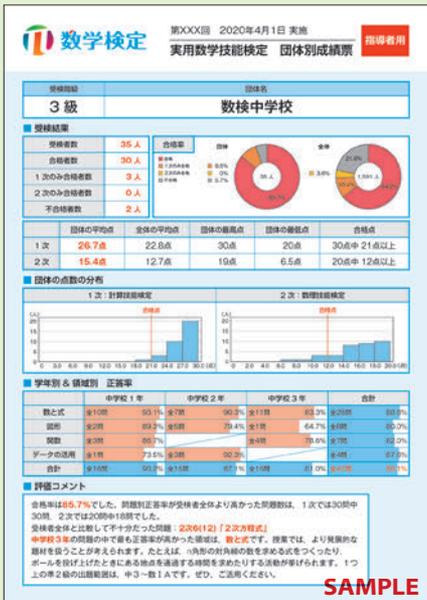
※過去の検定で使用した問題を、サンプル問題として公式サイト内で公開しています。
www.su-gaku.net/suken/support/past_questions/



4

指導に役立つアドバイスの提供

準1級[※]から5級までの受検については、指導者向けに団体別成績票が発行されます。階級ごとに学習の成果や課題が確認でき、今後の学習指導に活用できます。



団体別成績票(表)



団体別成績票(裏)

合格率や平均点について、全体と比較したときの団体の傾向がわかります。学年別・領域別の正答率や、解答類型とその反応率などを確認できます。また、今後の指導に役立つような評価コメントを記載しています。

※準1・2級は2024年7月検定から発行されます。

5

合格者の顕彰と受検者へのフィードバック

検定合格者に合格証と合格証明書が、受検者全員に個別成績票が発行されます。

検定合格は、入試優遇や単位認定などさまざまな場面で活用されています(10ページ参照)。

個別成績票は、出題内容に照らした習得状況がわかる成績票です。得意な問題や苦手な単元、受検後に取り組むとよい内容などがわかります。



実用数学技能検定 合格証



合格証明書



個別成績票

合格証などの種類



検定の概要

検定階級

1級、準1級、2級、準2級、3級、4級、5級、6級、7級、8級、9級、10級、11級、かず・かたち検定のゴールドスター、シルバースターがあります。1～5級までを「数学検定」、6～11級、かず・かたち検定までを「算数検定」と呼びます。

1次:計算技能検定 2次:数理技能検定

1～5級には、計算技能を測る「1次:計算技能検定」と数理応用技能を測る「2次:数理技能検定」があり、1次も2次も同じ日に行います。初めて受検するときは、1次・2次両方を受検します。6～11級、かず・かたち検定には、1次・2次の区分はありません。

受検資格

原則として受検資格を問いません。
※ただし、時代の要請や学習環境の変化などにより、当協会が必要と認めるときはこの限りではありません。

受検方法

2024年4月の検定から一部名称が変更になりました。

- 個人受検→個人受検A日程
- 提携会場受検→個人受検B日程

「団体受検」「個人受検」の2つの受検方法があります(14ページ参照)。

■ 団体受検

学校・学習塾・企業が自らの施設を会場として実施します。志願者が5人以上(階級不問)で実施可能です。

- ※志願者は在校生に限らず、卒業生や保護者、外部の方でも構いません。
- ※2024年度の団体受検に必要な志願者の人数は、3人以上です。

■ 個人受検 A 日程

(日曜日・地域選択・定員なし)

当協会が全国に設けた会場で4月・7月・10月の年3回、検定を実施します。

■ 個人受検 B 日程

(土曜日・会場選択・定員あり)

当協会と提携した機関が会場を設定し、一般の方を受入れて検定を実施します。

併願受検について

団体受検の算数検定(6～11級、かず・かたち検定)と個人受検のかず・かたち検定のみ、併願受検ができます(同一の志願者が同一の検定日に同一の会場で申し込む場合に限り、隣接した2階級まで併願受検することができます)。

※併願する場合は階級ごとに受検申込書を提出してください。

1次・2次の免除について

実用数学技能検定「数検」準1～5級の、1次:計算技能検定または2次:数理技能検定にのみ合格している場合、該当する階級の1次または2次の免除を申請して受検をお申し込みになれます。また免除に該当する場合、検定料の1,000円引きが適用されます(この適用を受けるためには、該当する1次または2次合格証に記載された合格証番号が、お申し込みのときに必要です)。

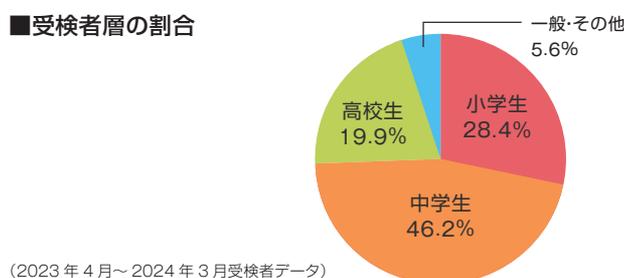
■各階級の合格率(2023年4月～2024年3月受検者データ・国内のみ)

階級	数学検定							算数検定						かず・かたち検定	
	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	11級	ゴールドスター	シルバースター
合格率(%)	8.5	20.9	32.3	41.8	67.1	67.6	69.3	82.8	78.6	90.0	91.3	93.2	93.1	98.9	97.5
受検比率(%)	0.6	2.2	7.8	14.5	24.2	11.4	9.4	5.7	5.1	5.1	4.8	4.5	3.7	0.7	0.4

■過去5年間の志願者数・実施校数の推移

実施年度	志願者数(人)	実施校数(校)
2019年度	358,000	16,900
2020年度	303,000	16,200
2021年度	354,000	18,000
2022年度	335,000	18,200
2023年度	301,000	16,200

■受検者層の割合



※志願者数・実施校数はのべ数です。志願者数は百の位、実施校数は十の位を四捨五入しています。
 ※2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響にとよまない、志願者数の集計方法が例年と異なります。
 ※2023年度は、タイ数学検定協会(現地の有識者の方々によって発足)実施による志願者数を含みます。

階級の構成

階級	構成	検定時間	出題数	合格基準	目安となる学年	検定料		検定内容構造図 8～9ページ参照
						団体受検	個人受検 A日程・B日程	
数学検定	1級	1次：60分 2次：120分	1次：7問	1次：全問題の70%程度 2次：全問題の60%程度	大学程度 一般	—※1	※1 8,500円	90% A (B・C) 10% 特有問題
	準1級		2次：2題必須・5題から2題選択		高校3年程度 (数学Ⅲ・数学C程度)	6,400円	7,300円	50% B 40% C 10% 特有問題
	2級	1次：50分 2次：90分	1次：15問		高校2年程度 (数学Ⅱ・数学B程度)	5,600円	6,500円	50% C 40% D 10% 特有問題
	準2級		2次：2題必須・5題から3題選択		高校1年程度 (数学Ⅰ・数学A程度)	4,800円	5,600円	50% D 40% E 10% 特有問題
	3級	1次：50分 2次：60分	1次：15問 2次：10問		中学校3年程度	4,300円	4,900円	30% E 30% F 30% G 10% 特有問題
	4級		1次：30問 2次：20問		中学校2年程度	3,800円	4,300円	30% F 30% G 30% H 10% 特有問題
	5級		1次：30問 2次：20問		中学校1年程度	3,800円	4,300円	30% G 30% H 30% I 10% 特有問題
算数検定	6級	50分	30問	全問題の70%程度	小学校6年程度	3,100円	3,200円	45% H 45% I 10% 特有問題
	7級				小学校5年程度	3,100円	3,200円	45% I 45% J 10% 特有問題
	8級				小学校4年程度	3,100円	3,200円	45% J 45% K 10% 特有問題
	9級	1次・2次の区分はありません。	20問		小学校3年程度	2,500円	※2 2,700円	45% K 45% L 10% 特有問題
	10級				小学校2年程度	2,500円	※2 2,700円	45% L 45% M 10% 特有問題
	11級				小学校1年程度	2,500円	※2 2,700円	90% M 10% 特有問題
	かかず・かたち検定				ゴールドスター シルバースター	15問	10問	幼児

※1. 1級は、団体受検・個人受検B日程では受検ができません。

※2. 9～11級は、個人受検A日程では受検ができません。

※3. かず・かたち検定の個人受検A日程は、自宅受検でのみ実施します。個人受検B日程では、かず・かたち検定は受検ができません。

「数検」とは？

「数検」の特長

検定の概要

検定基準(抄)

「数検」のメリット
活用事例

関連書籍

申込方法
協会の取り組み

検定基準(抄)

検定の内容および技能の概要【対応表】

10%にあたる問題は実用数学技能検定「数検」特有の問題、アルファベットの下を表記は目安となる学年です。

検定内容構造図	検定の内容	技能の概要
1級 A 90% (B・C) 特有問題 10%	A 大学・一般 解 析：微分法、積分法、基本的な微分方程式、多変数関数(偏微分・重積分)、基本的な複素解析 線形代数：線形方程式、行列、行列式、線形変換、線形空間、計量線形空間、曲線と曲面、線形計画法、二次形式、固有値、多項式、代数方程式、初等整数論 確率統計：確率、確率分布、回帰分析、相関係数 コンピュータ：数値解析、アルゴリズムの基礎 その他：自然科学への数学の応用 など	情報科学社会の発展や地球環境の保全あるいは経済活動などを自立的、協働的に推進するために必要な数学技能 ①自然科学に密着した数学上の諸技法を駆使し、諸法則を活用することができる。 ②抽象的な思考ができる。 ③身の回りの事象について、数学的に推論ができる。
準1級 B 50% C 40% 特有問題 10%	B 高校3年 数学Ⅲ・数学C程度 数列と極限、関数と極限、いろいろな関数(分数関数・無理関数)、合成関数、逆関数、微分法・積分法、行列の演算と一次変換、いろいろな曲線、複素数平面、基礎的統計処理 など	情報科学社会に対応して生じる課題を創造的に解決するために必要な数学技能 ①自然現象や社会現象の変化の特徴を掴み、表現することができる。 ②身の回りの事象を数学を用いて表現できる。
2級 C 50% D 40% 特有問題 10%	C 高校2年 数学Ⅱ・数学B程度 式と証明、分式、高次方程式、いろいろな関数(指数関数・対数関数・三角関数・高次関数)、点と直線、円の方程式、軌跡と領域、微分係数と導関数、不定積分と定積分、複素数、方程式の解、確率分布と統計的な推測 など	日常生活や業務で生じる課題を合理的に解決するために必要な数学技能(数学的な活用) ①複雑なグラフの表現ができる。 ②情報の特徴を掴み、グループ分けや基準を作ることができる。 ③身の回りの事象を数学的に発見できる。
準2級 D 50% E 40% 特有問題 10%	D 高校1年 数学Ⅰ・数学A程度 数と集合、数と式、二次関数・グラフ、二次不等式、三角比、データの分析、場合の数、確率、整数の性質、n進法、図形の性質 など	日常生活や社会活動に応じた課題を正確に解決するために必要な数学技能(数学的な活用) ①グラフや図形の表現ができる。 ②情報の選別や整理ができる。 ③身の回りの事象を数学的に説明できる。
3級 E 30% F 30% G 30% 特有問題 10%	E 中学校3年 平方根、式の展開と因数分解、二次方程式、三平方の定理、円の性質、相似比、面積比、体積比、簡単な二次関数、簡単な統計 など	社会で創造的に行動するために役立つ基礎的数学技能 ①簡単な構造物の設計や計算ができる。 ②斜めの長さを計算することができる、材料の無駄を出さずことなく切断したり行動することができる。 ③製品や社会現象を簡単な統計図で表示することができる。
4級 F 30% G 30% H 30% 特有問題 10%	F 中学校2年 文字式を用いた簡単な式の四則混合計算、文字式の利用と等式の变形、連立方程式、平行線の性質、三角形の合同条件、四角形の性質、一次関数、確率の基礎、簡単な統計 など	社会で主体的かつ合理的に行動するために役立つ基礎的数学技能 ①2つのものの関係を文字式で合理的に表示することができる。 ②簡単な情報を統計的な方法で表示することができる。
5級 G 30% H 30% I 30% 特有問題 10%	G 中学校1年 正の数・負の数を含む四則混合計算、文字を用いた式、一次式の加法・減法、一元一次方程式、基本的な作図、平行移動、対称移動、回転移動、空間における直線や平面の位置関係、扇形の弧の長さや面積、空間図形の構成、空間図形の投影・展開、柱体・錐体及び球の表面積と体積、直角座標、負の数を含む比例・反比例、度数分布とヒストグラム など	社会で賢く生活するために役立つ基礎的数学技能 ①負の数がわかり、社会現象の実質的正負の変化をグラフに表すことができる。 ②基本的図形を正確に描くことができる。 ③2つのものの関係変化を直線で表示することができる。

検定内容構造図	
6級	
H 45%	
I 45%	
特有問題 10%	
7級	
I 45%	
J 45%	
特有問題 10%	
8級	
J 45%	
K 45%	
特有問題 10%	
9級	
K 45%	
L 45%	
特有問題 10%	
10級	
L 45%	
M 45%	
特有問題 10%	
11級	
M 90%	
特有問題 10%	
ゴールドスター	
GS	
シルバースター	
SS	

検定の内容	技能の概要
<p>H</p> <p>小学校6年</p> <p>分数を含む四則混合計算、円の面積、円柱・角柱の体積、縮図・拡大図、対称性などの理解、基本的単位の理解、比の理解、比例や反比例の理解、資料の整理、簡単な文字と式、簡単な測定や計量の理解 など</p>	<p>身近な生活に役立つ算数技能</p> <p>①容器に入っている液体などの計量ができる。 ②地図上で実際の大きさや広さを算出することができる。 ③2つのものの関係を比やグラフで表示することができる。 ④簡単な資料の整理をしたり、表にまとめたりすることができる。</p>
<p>I</p> <p>小学校5年</p> <p>整数や小数の四則混合計算、約数・倍数、分数の加減、三角形・四角形の面積、三角形・四角形の内角の和、立方体・直方体の体積、平均、単位数あたりの大きさ、多角形、図形の合同、円周の長さ、角柱・円柱、簡単な比例、基本的なグラフの表現、割合や百分率の理解 など</p>	<p>身近な生活に役立つ算数技能</p> <p>①コインの数や紙幣の枚数を数えることができ、金銭の計算や授受を確実に行うことができる。 ②複数の物の数や量の比較を円グラフや帯グラフなどで表示することができる。 ③消費税などを算出できる。</p>
<p>J</p> <p>小学校4年</p> <p>整数の四則混合計算、小数・同分母の分数の加減、概数の理解、長方形・正方形の面積、基本的な立体図形の理解、角の大きさ、平行・垂直の理解、平行四辺形・ひし形・台形の理解、表と折れ線グラフ、伴って変わる2つの数量の関係の理解、そろばんの使い方 など</p>	<p>身近な生活に役立つ算数技能</p> <p>①都道府県人口の比較ができる。 ②部屋、家の広さを算出することができる。 ③単位あたりの料金から代金が計算できる。</p>
<p>K</p> <p>小学校3年</p> <p>整数の表し方、整数の加減、2けたの数をかけるかけ算、1けたの数でわるわり算、小数・分数の意味と表し方、小数・分数の加減、長さ・重さ・時間の単位と計算、時刻の理解、円と球の理解、二等辺三角形・正三角形の理解、数量の関係を表す式、表や棒グラフの理解 など</p>	<p>身近な生活に役立つ基礎的な算数技能</p> <p>①色紙などを、計算して同じ数に分けることができる。 ②調べたことを表や棒グラフにまとめることができる。 ③体重を単位を使って比較できる。</p>
<p>L</p> <p>小学校2年</p> <p>百の位までのたし算・ひき算、かけ算の意味と九九、簡単な分数、三角形・四角形の理解、正方形・長方形・直角三角形の理解、箱の形、長さ・水のかさと単位、時間と時計の見方、人数や個数の表やグラフ など</p>	<p>身近な生活に役立つ基礎的な算数技能</p> <p>①商品の代金・おつりの計算ができる。 ②同じ数のまとまりから、全体の数を計算できる。 ③リボンの長さ・コップに入る水の体積を単位を使って表すことができる。 ④身の回りにあるものを分類し、整理して簡単な表やグラフに表すことができる。</p>
<p>M</p> <p>小学校1年</p> <p>個数や順番、整数の意味と表し方、整数のたし算・ひき算、長さ・広さ・水の量などの比較、時計の見方、身の回りにあるものの形とその構成、前後・左右などの位置の理解、個数を表す簡単なグラフ など</p>	<p>身近な生活に役立つ基礎的な算数技能</p> <p>①画用紙などを合わせた枚数や残りの枚数を計算して求めることができる。 ②鉛筆などの長さを、他の基準となるものを用いて比較できる。 ③缶やボールなど身の回りにあるものの形の特徴をとらえて、分けることができる。</p>
<p>GS</p> <p>10までの数の理解、合わせた数、○△□を含む形の基本的な理解、やや複雑な積み木の数の理解、大小・長短・高低・多少・重軽、規則を見いだす力 など</p>	<p>遊びや生活に役立つかずやかたち</p> <p>①クッキーなどの個数(10まで)を数えることができる。 ②背の高さなどを直接比べて比較できる。 ③三角形、四角形、丸の形などを使って遊ぶことができる。</p>
<p>SS</p> <p>幼児</p> <p>5までの数の理解、○△□の基本的な理解、簡単な積み木の数の理解、大小・長短・多少、規則を見いだす力 など</p>	<p>遊びに役立つかずやかたち</p> <p>①あめなどの個数(5まで)を数えることができる。 ②ひもの長さなどを直接比べて比較できる。 ③三角形、四角形、丸の形を区別できる。</p>

「数検」のメリット

メリットについて、くわしくは
こちらをご覧ください。
www.su-gaku.net/suken/feature/



1 入試における活用

入試の際、**実用数学技能検定「数検」**の取得を活用する学校が増えています。

※「優遇」「評価」「参考程度」含む。

高校入試における生徒の評価基準として、学科試験の成績だけではなく、中学校在学中の数検の取得を活用する学校が多数あります。入試時の点数加算から参考要素とするなど、それぞれの学校において、活用の内容はさまざまです。

大学入試において、受験者の総合的な人物評価の基準として数検の取得を活用する大学・短大が多数あります。入試時の点数加算や出願条件、参考要素とするなど、それぞれの大学・短大において、活用の内容はさまざまです。

高等専門学校・高等学校・中学校

全国 **1,090** 校以上!

大学・短大・専門学校

全国 **530** 校以上!

(2022年7月現在。当協会調べ)

2 単位認定制度

数検の取得者に、**数学**などの単位を認定する学校が増えています。

大学・高等専門学校・高等学校

全国 **440** 校以上!

(2022年7月現在。当協会調べ)

3 高等学校卒業程度認定試験

文部科学省が行う「**高等学校卒業程度認定試験(旧「大検」)**」の必須科目「**数学**」が試験免除になります(2級以上合格)。

高等学校卒業程度認定試験で、数検の合格を証明する場合は、「**合格証明書**」が必要となります。

その他

ジュニアマイスター顕彰制度

公益社団法人全国工業高等学校長協会が主催する「**ジュニアマイスター顕彰制度**」で点数化されています(3級以上合格)。「**ジュニアマイスター顕彰制度**」については公益社団法人全国工業高等学校長協会のホームページ(www.zenkoukyo.or.jp)をご覧ください。(2023年12月現在。当協会調べ)

アグリマイスター顕彰制度

全国農業高等学校長協会が主催する「**アグリマイスター顕彰制度**」で点数化されています(4級以上合格)。「**アグリマイスター顕彰制度**」については全国農業高等学校長協会のホームページ(www.zennokocyoikai.org)をご覧ください。(2023年12月現在。当協会調べ)

中学校

世界で活躍できる人材の育成・輩出をめざし「数学好き」を増やす活動を継続する

猪苗代町立猪苗代中学校(福島県)
お話：斉藤知暉教諭

本校が数検を導入したのは、2001年2月からです。数学が苦手だと答える生徒が多く、他の検定と比較しても受検者数が少ない状況でした。数学を好きになるきっかけは、「解けた！」というプラスの経験であると考えています。したがって、生徒たちには進学に生かすのはもちろんのこと、1回でも多く「解けた！」という経験をしてもらいたいという思いがあり、数検担当になった2年前から実施回数を増やすことにしました。その成果も少しずつ出てきており、受検者数は増加傾向にあります。



生徒たちには、「数学」という学問をとらえて「論理的思考力」を身につけさせたいと考えています。急速に発展していく社会では、すぐに答えが見つからない問題に直面することがあるかもしれません。どうしたら解決できるのか、その答えに到達するためには、筋道を立てて物事を考える必要があると思っています。

時折、生徒から「数学は、将来役に立ちますか？」と質問されることがあります。確かに、学習している内容のすべてが将来必要になるものとは限りません。しかし、数学で養うことができる文章の読解力や、物事を合理的・論理的に思考する力は必ず役に立つはずで、解決が困難な課題に対しても、粘り強く取り組むその経験が「数学好き」への第一歩だと思っています。

高等学校

「数検」の取得で基礎学力を高め、これからの情報社会で活躍できる人材をめざす

高松学園 伊那西高等学校(長野県)
お話：小林利拓教諭

本校で数検を導入し、同時に私自身が担当を務めてから19年になります。数検準2級の出題範囲は数学I・Aと、高校生にとって必修範囲であることから、合格することで基礎学力があることの証明になります。



数学と情報の科目を指導していて感じることは、情報を整理し、活用できる人がこれからの情報社会で活躍できる人材だということです。その力を生徒につけさせるためには、ICTをフル活用した授業と、アクティブラーニングを取り入れることが必要だと考えています。生徒たちは板書や授業動画を撮影し、自宅での復習やノートの整理に役立てたり、多種多様な電子テキストを教科書の代わりとして使用したりしています。また、予習動画の視聴により、一定の知識がある状態で授業を受けられるので、理解度に加えて応用問題の正答率も格段に上がりました。さらに授業時間に少し余裕が生まれ、それをアクティブラーニングの時間として活用し、お互いに学び合ったり教え合ったりできるよう改善しました。

数学は、理解の積み重ねが重要です。つまずきの原因を取り除いていくことで、数学が理解できずにやる気も起きず、学習することを諦めていた生徒たちが、理解できることの楽しさや達成感に後押しされ、さらに数学力向上に自ら向かえるようくふうしています。

教育委員会

地域全体で児童・生徒の学力向上をサポート

早島町教育委員会(岡山県)
お話：学校教育課 野田久美子さま

「はやしま塾」は、算数分野の学力向上を目的として発足した「放課後さんすう教室」が前身で、早島町教育委員会が創設し、2016年度から本格的な実施をしています。地域の子どもの基礎学力の定着・応用力の向上を目標に掲げたこの活動は、各自の理解度や習熟度ごとにコースを設け、個々に寄り添った指導に努めています。



数検は、この活動の学習成果を測る目的で2019年から導入しています。当初30人弱だった受検者数は、2020年8月の検定では56人に増え、子どもたちの意欲が数字となって表れました。合格率も80%前後と高く、目標に向かって取り組む姿勢が喜ばしい結果をもたらしました。また、2019年度、日本数学検定協会に実施を依頼した小学生対象の「さんすう体感プログラム」がよい刺激となり、保護者からも「嫌いだった算数に興味をもつようになった」とのうれしい声が届きました。算数・数学は実生活に役立つものだと思えた児童が多かったようです。

「早島」という地域を挙げて子どもたちを大切に育て、今後の社会を生き抜く彼らにとって、心に残る経験を1つでも多く提供し続けたいと考えています。そして、1人ひとりが、よりよい地域づくりの一翼を担っていることを誇りに感じ、持続可能な社会づくりに貢献できる人材が育っていくことを期待しています。

地域学校協働活動

地域力を生かして 教員の負担軽減にも寄与

おおさわ学園 地域学校協働本部「おおさぼ」(東京都)
お話：地域学校協働活動推進員(スクール・コミュニティ推進員) 倉田清子さま、藤橋初美さま

おおさわ学園は、2008年に開園した東京都三鷹市の公立の小・中一貫教育校です。学園周辺には、豊かな自然環境のほか、国立天文台などの学術研究機関も存在することから、これらの地域資源を活用した学びを体験できる機会が数多く用意されています。数検は、2015年から導入を開始しました。検定の実施運営にあたっては、地域学校協働本部が事務局の主体として活動し、学園内の全児童・生徒に向けた検定の通知文の配布や、申し込みの取りまとめ、集金など、一連の事務作業を引き受けています。また、地域住民の方によるサポートも大きく、検定日当日の監督業務をお願いしていることから、教員の負担軽減にも大きく寄与しているのではないかと考えます。数検の実施にあたっては、近隣のコミュニティ・センターを検定会場としているのも大きな特徴です。地域住民のために開かれた施設であることを受検者や保護者の方々に知ってもらふ目的もあるのですが、児童・生徒が検定の受験を通じて、教室とは異なる特別な雰囲気にも慣れてもらいたいという願いがあります。数検を導入した当初は、中学校の生徒のみを対象としていたのですが、現在は小学校の児童にも対象を拡大しています。2023年は、児童・生徒合わせて84人がチャレンジしました。今後は、学園の児童・生徒以外に、地域住民の方も対象とした数検実施の検討を進めています。



関連書籍

お近くの書店またはAmazonなどでお買い求めください。

基礎から発展までしっかり学びたい方に

実用数学技能検定 要点整理

単元別に構成された参考書のような問題集です。基本事項のまとめと難易度別の問題が掲載されています。

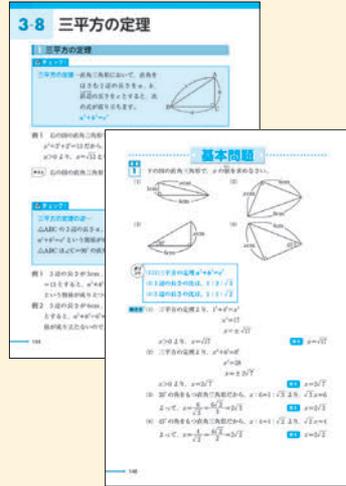
- 苦手分野を効率よく学習
- 「基本問題」「応用問題」「発展問題」で段階的に実力を養成
- 検定直前の復習は「重要」「大切」アイコンをチェック

発行 (公財)日本数学検定協会

発売 丸善出版株式会社

定価 準1級 1,980円(本体1,800円+税10%)
 2級 1,760円(本体1,600円+税10%)
 準2級 1,540円(本体1,400円+税10%)
 3~5級 各1,320円(本体1,200円+税10%)
 6~11級 各1,100円(本体1,000円+税10%)

サイズ A5判



数学検定
準1~5級



算数検定
6~11級

※準1級改訂版
2024年5月発売

2次合格をめざす方に

記述式の問題や文章題を学習するための、穴埋め形式の問題集です。

「例題」「練習」「実践(確認)」の3ステップ構成で、「問題の読み解き方」「解答の組み立て方」のコツが効率よく身につきます。

実用数学技能検定 記述式演習帳

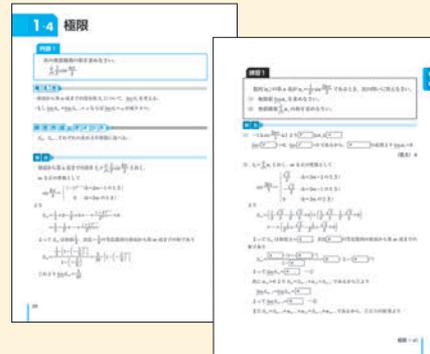
- 問題を「計算」「図・表・グラフの活用」「論証」のタイプ別に収録
- 問題の考え方や解答作成のための豊富なアドバイス付き

発行 (公財)日本数学検定協会

発売 丸善出版株式会社

定価 準1級 1,980円(本体1,800円+税10%)
 2・準2級 各1,760円(本体1,600円+税10%)

サイズ A5判



数学検定
準1~準2級

実用数学技能検定 文章題練習帳

実用数学技能検定 文章題入門帳

- キャラクターがやさしく解説
- 問題文の重要な箇所がひと目でわかるレイアウト
- 「図形問題」も収録、1冊で2次検定の力を養える
- 身近な事柄を題材にしたチャレンジ問題を収録



数学検定
3~5級



算数検定
6~8級



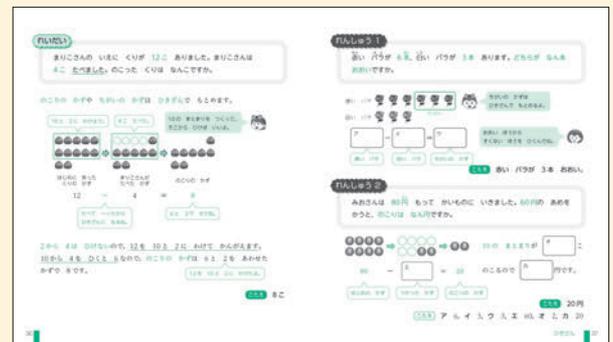
算数検定
9~11級

発行 (公財)日本数学検定協会

発売 丸善出版株式会社

定価 文章題練習帳 3~5級 各1,320円(本体1,200円+税10%)
 6~8級 各1,100円(本体1,000円+税10%)
 文章題入門帳 9~11級 各1,100円(本体1,000円+税10%)

サイズ 文章題練習帳 3~8級 A5判
 文章題入門帳 9~11級 B5変型



書籍に関するくわしい情報は
こちらをご覧ください。
www.su-gaku.net/suken/support/book/



実際の検定問題を解きたい方に

実用数学技能検定 過去問題集

過去に実際に使われた検定問題に、模範解答とくわしい解説がついています。

- 準1～5級は過去問題 4 回分を収録、6～11 級は過去問題 6 回分を収録

発行 (公財)日本数学検定協会	定 価	準 1 級	1,320 円(本体 1,200 円+税 10%)
発売 丸善出版株式会社		2 級	1,210 円(本体 1,100 円+税 10%)
		準 2～5 級	各 1,100 円(本体 1,000 円+税 10%)
		6～11 級	各 880 円(本体 800 円+税 10%)
	サイズ	A5 判	



数学検定 準 1 級
※2 級改訂版
2024 年 5 月発売



数学検定 2～5 級
算数検定 6～11 級

これから算数の学習をはじめる方に

親子ではじめよう 算数検定

キャラクターのアドバイスを読みながら、親子で楽しく算数を学べる学習書です。単元ごとに重要なポイントをしぼり、解説、例題、練習問題を掲載しています。

- かわいいキャラクターが解説
- 算数で遊べるパズル問題付き

発行 (公財)日本数学検定協会	定 価	6～8 級	各 1,100 円
発売 丸善出版株式会社		9～11 級	各 990 円
			(本体 900 円+税 10%)
	サイズ	B5 変型	



※6～8 級改訂版
2024 年 5 月発売



上の階級の合格をめざす方に

実用数学技能検定 [完全解説問題集] 発見

過去に実際に使われた検定問題に、模範解答とくわしい解説がついています。公式や定義、別解答も多く収録されています。

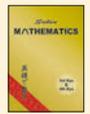
発行 (公財)日本数学検定協会	定 価	1 級	2,200 円(本体 2,000 円+税 10%)
発売 丸善出版株式会社		準 1 級	1,980 円(本体 1,800 円+税 10%)
	サイズ	B5 判	



英語で数学を学びたい方に

当協会の直販サービス「数検 Direct(ダイレクト)」で英語版の問題集(3 級& 4 級)がご購入になれます。

※3 級と 4 級を 1 冊にまとめた合本版のみのお取り扱いとなっております。



- 受かる! 数学検定
- 受かる! 数学検定 過去問題集
- 算数検定合格ドリル (受けよう! 算数検定)

発行: (株)Gakken



- U-CANの数学検定 ステップアップ問題集

発行: (株)ユーキャン



- 数学検定に面白いほど合格する本

発行: (株)KADOKAWA



- 読めばスッカリ!
数学検定 準2級への道/3級への道
- 解いてスッカリ!
数学検定準2級への道 問題集

発行: (株)電気書院



- 数学検定1級準拠テキスト
微分積分/線形代数
- ためせ実力! 数学検定
1級/準1級実践演習
- 完全ガイド! 数学検定1級
出題パターン徹底研究

発行: 森北出版(株)



- 重要ポイント解説!
テキストと過去問で学ぶ
数学検定

発行: (株)オーム社



- 合格ナビ! 数学検定

発行: 東京図書(株)

「数検」とは?

「数検」の特長

検定の概要

検定基準(抄)

「数検」のメリット
活用事例

関連書籍

申込方法
協会の取り組み

申込方法

団体受検について

団体受検とは

「団体受検」は、学校・学習塾・企業などが自らの施設を会場として実施します。志願者が5人以上*（階級不問）で実施できます。年間17回の検定日からご都合の良い日程をお選びになれます。志願者の募集や申し込み、検定料の支払いは、原則として各団体の担当者（先生）が行います（団体受検「志願者ダイレクト」申込は志願者が行います）。検定結果は協会から各団体に送付されます。
※2024年度の団体受検に必要な志願者の人数は3人以上です（ただし、検定実施諸経費の適用は5人以上です）。

担当者申込方法



インターネットで申し込む

〈団体受検「担当者一括」申込〉

- ① 団体専用マイページにアクセスし、志願者情報を登録する。
- ② 申込締切日から10日程度で到着する請求書で、検定料を支払う。

〈団体受検「志願者ダイレクト」申込〉（2023年6月検定から新設。詳細は公式サイトをご確認ください）

- ① 担当者が団体専用マイページにアクセスし、検定日の登録と二次元コードを発行する。
- ② 担当者が二次元コード（または申込サイトのURL）を志願者に配付する。
- ③ 志願者が申込サイトから申し込み、検定料を支払う。

※〈団体受検「志願者ダイレクト」申込〉とは…受検の申し込みや検定料の支払いを、志願者が直接行う申し込み方法。



郵送で申し込む

- ① 公式サイト内の「申し込みについて」から「検定申込書」をダウンロードし、必要事項を記入する。
- ② 志願者から集めた「受検申込書（原本）」と「検定申込書（コピー）」を、郵送する。
- ③ 申込締切日から10日程度で到着する請求書で、検定料を支払う。

*団体受検をはじめて実施する場合、事前に実施校としての登録が必要です。
*申し込みから結果到着までの流れについては、別冊【団体受検申し込みの手引き】をご参照ください。

個人受検について

● 個人受検A日程（日曜日・地域選択・定員なし）

個人受検A日程とは

「個人受検A日程」は、当協会が全国の各都道府県に会場を設定し、一般の方を受け入れて検定を実施します。検定は4月・7月・10月の年3回実施します。志願者が個別に協会へ検定の申し込みと検定料の支払いを行います。受検証と検定結果は協会から受検者へ直接送付します。

志願者申込方法



インターネットで申し込む



LINEで申し込む



コンビニエンスストアの端末で申し込む



郵送で申し込む

● 個人受検B日程（土曜日・会場選択・定員あり） ※旧提携会場受検

個人受検B日程とは

「個人受検B日程」は、当協会と提携した機関が会場を設定し、一般の方を受け入れて検定を実施します。実施する検定回や階級は、会場ごとに異なります。志願者が個別に協会へ検定の申し込みと検定料の支払いを行います。受検証と検定結果は協会から受検者へ直接送付します。

志願者申込方法



インターネットで申し込む

*個人受検B日程をはじめて実施する場合、事前に提携機関としての登録が必要です。

協会の取り組み

「数検」グランプリ

実用数学技能検定「数検」グランプリは、積極的に算数・数学の学習に取り組んでいる団体・個人の努力を称え、さらに今後の指導・学習の励みとする目的で、とくに成績優秀な団体および個人を表彰する制度です。毎年、数検を受検された団体・個人からそれぞれ選考します。また、卓越して優秀な団体・個人には「文部科学大臣賞」が授与されます。

● 団体賞

文部科学大臣賞
「数検」グランプリ金賞
「数検」グランプリ奨励賞

● 個人賞

文部科学大臣賞
「数検」グランプリ金賞
「数検」グランプリ会長賞

算数・数学指導資格

当協会は算数・数学を指導する講師の育成を支援するため、以下の指導資格を設けております。

● 数学コーチャー

地域で算数・数学文化を広めていく人材のことです。「算数・数学を学ぶ人の声を聴き、共に学ぶ」ことを基本姿勢とし、国内外で数学の有用性やおもしろさを広めることを目的としています。

● インストラクター

算数・数学指導のエキスパートのことです。幼児さんすうインストラクター、算数インストラクター、数学インストラクター、ビジネス数学インストラクターからなり、算数・数学を広く深く教えていくことを目的としています。

ビジネス数学検定

日常生活やビジネスの現場で登場する数字をテーマにした出題で、数学の活用能力を測定する検定試験です。インターネット上で受検できる WBT(Web Based Testing)方式で実施のため、いつでもどこでも受検することができます。社会でどのように役立っているかわかりにくいと言われがちな数学ですが、その有効性を実例を通して学べます。数学の問題を解くための数学力にとどまらない「使える数学力(数的センス)」の向上に、ビジネス数学検定をご活用ください。

■ビジネス数学 公式サイト www.su-gaku.biz

ビジネス数学
BM
Business
Mathematics

データサイエンス数学ストラテジスト

「データサイエンス数学ストラテジスト」は、当協会が2021年9月に新設した資格です。データサイエンスの基盤となる基礎的な数学(確率統計・線形代数・微分積分など)と実践的な数学(機械学習系・アルゴリズム系・ビジネス系数学)の2つを合わせて体系化したデータサイエンス数学に関する知識とそれを活用できるコンサルティング力を兼ね備えた専門家として、一定の水準に達した方を認定するものです。

■データサイエンス数学ストラテジスト 法人向けサイト

www.mathdatascience.jp

データサイエンス数学
ストラテジスト
Mathematics for Data Science Strategist

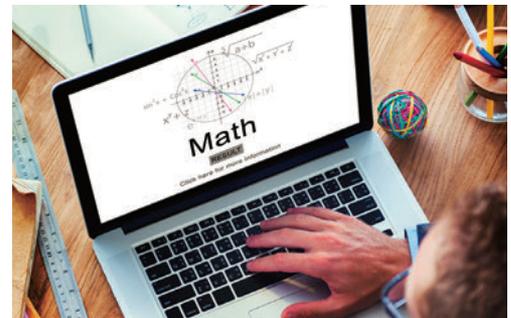
「土曜学習応援団」について

当協会は、文部科学省が推進する「子どもたちの土曜日における充実した学習機会を提供する方策」の1つである土曜学習応援団に参画しています。

具体的には、子どもたちに算数・数学の大切さや学ぶ楽しさを味わってもらうために、座学ではなく体を使って学習する「さんすう体感プログラム」などの学習支援イベントに取り組んでいます。ぜひ、ご相談ください。

おもな学習支援イベント

- さんすう体感プログラム
- 算数トライアスロン
- 円かき大会
- 折り紙教室 など



2024年度(2024年4月~2025年3月) 検定日一覧

団体受検

	検定日	開始時刻	受付開始日	申込締切日	WEB可否確認日	実施階級	
2024年	第423回 4月14日(日)	午後1~2時	2/13(火)	3/12(火)	5/9(木)	準1~11級	かず・かたち検定
	第424回 6月8日(土)	午前9時以降の適切な時刻	4/8(月)	5/8(水)	6/27(木)	2~11級	
	第425回 6月22日(土)		4/22(月)	5/21(火)	7/12(金)	準1~11級	
	第426回 7月6日(土)		5/7(火)	6/4(火)	7/25(木)	準1~11級	
	第427回 7月21日(日)	午後1~2時	5/20(月)	6/18(火)	8/8(木)	準1~11級	
	第428回 8月24日(土)	午前9時以降の適切な時刻	6/17(月)	7/17(水)	9/12(木)	準1~11級	
	第429回 9月21日(土)		7/16(火)	8/20(火)	10/10(木)	2~11級	
	第430回 10月12日(土)		8/5(月)	9/10(火)	10/31(木)	準1~11級	
	第431回 10月27日(日)	午後1~2時	8/26(月)	9/25(水)	11/14(木)	準1~11級	
	第432回 11月9日(土)	午前9時以降の適切な時刻	9/9(月)	10/8(火)	11/28(木)	2~11級	
第433回 11月15日(金)	9/17(火)		10/16(水)	12/5(木)	2~11級		
第434回 11月16日(土)	9/17(火)		10/16(水)	12/5(木)	準1~11級		
第435回 12月7日(土)	10/7(月)		11/6(水)	12/26(木)	準1~11級		
第436回 1月18日(土)	11/11(月)		12/10(火)	2/6(木)	2~11級		
第437回 2月8日(土)	12/2(月)		1/8(水)	2/28(金)	準1~11級		
第438回 2月14日(金)	12/9(月)		1/15(水)	3/6(木)	2~11級		
2025年	第439回 3月1日(土)	12/23(月)	1/28(火)	3/21(金)	2~11級		

※英語版での受検は、7/21検定と10/27検定の準1~8級のみとなります。

個人受検 A 日程

	検定日	開始時刻	受付開始日	志願者申込締切日	WEB可否確認日	実施階級
2024年	第423回 4月14日(日)	午後1~2時 (くわしい開始時刻は受検証に記載します。)	2/13(火)	3/5(火)	5/9(木)	1~8級、 かず・かたち検定
	第427回 7月21日(日)		5/20(月)	6/11(火)	8/8(木)	
	第431回 10月27日(日)		8/26(月)	9/18(水)	11/14(木)	

※英語版での受検は、7/21検定と10/27検定の1~8級のみとなります。

個人受検 B 日程

	検定日	登録申請締切日 ^{※1}	受付開始日	志願者申込締切日 ^{※2}	WEB可否確認日	実施階級
2024年	第424回 6月8日(土)	3/18(月)	4/8(月)	5/8(水)	6/27(木)	2~11級
	第425回 6月22日(土)	4/1(月)	4/22(月)	5/21(火)	7/12(金)	準1~11級
	第426回 7月6日(土)	4/16(火)	5/7(火)	6/4(火)	7/25(木)	準1~11級
	第428回 8月24日(土)	5/27(月)	6/17(月)	7/17(水)	9/12(木)	準1~11級
	第429回 9月21日(土)	6/25(火)	7/16(火)	8/20(火)	10/10(木)	2~11級
	第430回 10月12日(土)	7/15(月)	8/5(月)	9/10(火)	10/31(木)	準1~11級
	第432回 11月9日(土)	8/19(月)	9/9(月)	10/8(火)	11/28(木)	2~11級
	第434回 11月16日(土)	8/27(火)	9/17(火)	10/16(水)	12/5(木)	準1~11級
第435回 12月7日(土)	9/16(月)	10/7(月)	11/6(水)	12/26(木)	準1~11級	
2025年	第436回 1月18日(土)	10/21(月)	11/11(月)	12/10(火)	2/6(木)	2~11級
	第437回 2月8日(土)	11/11(月)	12/2(月)	1/8(水)	2/28(金)	準1~11級
	第439回 3月1日(土)	12/2(月)	12/23(月)	1/28(火)	3/21(金)	2~11級

※1 「登録申請締切日」とは、提携機関が行う個人受検B日程登録申請の締切日です。

※2 座席数に限りがありますので、「志願者申込締切日」前であっても定員になり次第、締め切ります。

公益財団法人 **日本数学検定協会**

[本部] 〒110-0005 東京都台東区上野5-1-1 文昌堂ビル6階
[カスタマーサービスセンター] 〒110-0005 東京都台東区上野5-1-1 文昌堂ビル4階

DS01-2407

お問い合わせはこちら (電話お問い合わせ時間) 月~金10:00~16:00 (祝日・年末年始・当協会の休業日を除く)

TEL 03-5812-8341

FAX 03-5812-8345

公式サイト www.su-gaku.net/suken/

数検 LINE 公式アカウント

お友だち追加はこちら



※「数検」「数検/数学検定」「数検/Suken」は当協会に専用使用権が認められています。